

イエール大学 プログラム

大学支援フォーラムPEAKS／内閣府では、我が国の大学、及び科学技術・イノベーションに関わる政策動向の理解に加え、イエール大学等でのディスカッションを中心とした研修を通じて、産業界・大学・政府関係者の更なる知見集積と、グローバルな人的ネットワークの構築と推進を図ることを目的に、イエール大学等と開発したオリジナルプログラムを実施します。

プログラム内容

① 自己学習 ② 国内事前研修 ③ 現地研修(アメリカ) ④ 国内事後研修

※現地研修の全プログラムは英語で実施(同時通訳なし) ※詳細は裏面をご確認ください

参加対象者(応募要件)

大学： 将来の大学のマネジメントを担う強い意志のある幹部教職員、
またはそれにふさわしい能力を有する者

企業： 産学連携・研究開発を担う人材、
またはそれにふさわしい能力を有する者

官公庁： 大学政策・科学技術イノベーション政策の企画決定に携わる者

定員

15名程度

参加費用

研修費用(約56万円)＋現地までの旅費(各自手配)(約30～40万円)

※航空券・宿泊先ホテルまでの交通手段は各自で手配いただくため、旅費は前後する可能性があります
※費用は為替相場等の影響で増減する可能性があります

申込方法

以下URLまたはQRコードより必要項目を入力し、送信してください。

本プログラムへの応募にあたっては、上記応募要件を満たす者として、応募者所属組織による推薦が必要です。なお、参加者は、プログラム修了後に各所属組織において研修等を開いたり、組織改革の実行に取り組むなど、本プログラムで得た知識等を組織に還元・活用いただくことを了承頂いた上でご応募ください。

一次募集〆切：2025年8月29日(金)17:00まで

二次募集〆切：2025年9月5日(金)17:00まで

※受講者については、申込み書類をもとに厳正な選考を実施したのち、最終決定いたします。

※一次募集で採用人数が定員に達しなかった場合に限り、二次募集を行います。
二次募集を行うか否かはPEAKSのウェブページでお伝えします。

<https://forms.office.com/r/3DjWwZ16aq>



本プログラム 4つのメリット



産学連携・大学経営・イノベーション・スタートアップ創出等について学べる



イエール大学のトップ層・米国の産学連携のトップランナーより直々に学べる



国内外の産学官との人的ネットワークが構築できる



アメリカ・イエール大学及びニューヨーク市にて5日間の対面研修を受講できる

本プログラムのお申込みに関するお問い合わせ

大学支援フォーラムPEAKS／内閣府 <https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/>

大学支援フォーラムPEAKS事務局 (ボストン コンサルティング グループ ※内閣府より事業を受託)

✉ Peaks@bcg.com 担当: 亀岡

▶ 本プログラム詳細は
PEAKSのHPにてご確認ください

<https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/kenshu.html>



カリキュラム概要



自己学習

- 受講決定後～
- オンデマンド

1

- 事務局が用意する動画・資料等を用い、研修に関わる基礎知識を習得します。
- 詳細は受講決定後に共有いたします。



国内事前研修

- 2025年10月26日(日)
- 午後(予定)
東京(対面)

2

- 国内外の産学連携、大学経営及び科学技術・イノベーション政策の最新動向への理解を深め、現地研修での議論の準備をし、参加者同士のネットワーキングを図ります。



現地研修 (5日間)

- 11月3日(月)朝～
11月7日(金)夜
- アメリカ・イェール大学及び
ニューヨーク市

3

- 産学連携や大学経営に関連したテーマにつき、イェール大学のトップ層や米国の産学連携のトップランナーとのディスカッション・視察等を行い、トップ大学等の実践を学び、ネットワーキングを図ります。

テーマ

(一部調整のため、記載の内容とは異なる場合があります)

大学経営

米国大学の米国政策への対応
戦略的な財務政策
研究大学の組織とガバナンス
大学教員のマネジメントとリーダーシップ
卒業生との関係構築と関係強化

研究

リサーチ・プライオリティと戦略

産学連携/スタートアップ創出

先端研究(量子等)の産学連携
産学連携したイノベーションを促進し支援する大学の戦略
イェール大学での産学連携の在り方
ニューヨーク市の産学官連携拠点等訪問
イェール大学・研修参加大学及び企業での共同研究等の可能性の探索

教育

イェール大学とリベラルアーツ&サイエンス教育
アカデミア外の出口を見据えた博士課程教育



国内事後研修

- 2025年12月6日(土)
- 午後(予定)
東京(対面)

4

- 現地研修を踏まえ、所属組織で今後取り組みたい内容を共有・議論します。